



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名 豊田通商株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 8015 URL <http://www.toyota-tsusho.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加留部 淳

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 内山 和浩

TEL 052-584-5482

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,706,749	9.9	81,113	27.1	94,323	10.6	58,495	21.3
24年3月期第3四半期	4,283,842	1.8	63,817	△9.0	85,284	△1.0	48,237	14.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 85,496百万円 (691.9%) 24年3月期第3四半期 10,796百万円 (63.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	167.13	167.02
24年3月期第3四半期	137.96	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,438,750	843,162	20.2
24年3月期	2,837,428	751,747	22.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 694,225百万円 24年3月期 640,330百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	16.00	—	26.00	42.00
25年3月期	—	22.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600,000	11.5	114,000	23.4	131,000	13.8	70,000	5.7	199.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) Toyota Tsusho Wheatland Inc. 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	354,056,516 株	24年3月期	354,056,516 株
25年3月期3Q	3,634,500 株	24年3月期	4,165,972 株
25年3月期3Q	350,006,063 株	24年3月期3Q	349,641,763 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経済環境を概観しますと、欧州債務危機の長期化、中国経済成長の鈍化に加え、インド等新興国の景気減速が顕著になり、世界経済の停滞感が強くなりました。一方、米国及び中国をはじめとする各国で金融緩和などの景気下支え策が実施されました。こうした中、わが国経済は、復興需要が下支えとなったものの、個人消費・輸出の軟調により停滞傾向が続きました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は自動車生産の回復等により、前年同四半期連結累計期間を4,229億円(9.9%)上回る4兆7,067億円となりました。

これを事業本部別に見ますと以下の通りであります。

金属本部は、鉄鋼分野では、メキシコにおいて、一貫したサービス体制構築のため、新たな鋼材加工センターを設立するとともに、既存の鋼材加工センターの能力増強を図りました。非鉄金属分野では、日本企業として初めて、アルゼンチンのリチウム資源開発会社の株式を取得しました。また、インドでの需要増加に対応するため、現地企業と合弁でアルミ二次合金製造会社を設立し、同事業に参入しました。売上高については、自動車生産の回復により、前年同四半期連結累計期間を710億円(6.0%)上回る1兆2,594億円となりました。

グローバル生産部品・ロジスティクス本部では、中小部品メーカーの海外進出を支援するため設立したインドネシアのテクノパーク事業会社において、第一期入居企業の受け入れを完了し、第二期入居企業の一部受け入れを開始しました。また、物流事業拡大のため、ブラジルの大手物流会社との合弁会社設立に関する契約を締結しました。売上高については、海外の自動車生産の回復により、前年同四半期連結累計期間を695億円(15.6%)上回る5,161億円となりました。

自動車本部では、仏系大手商社CFAO(セーファーオー)社の株式を取得しました。また、新興・資源国を中心に自動車販売基盤を拡充しました。売上高については、海外の自動車販売増加及び自動車生産の回復により、前年同四半期連結累計期間を996億円(20.5%)上回る5,845億円となりました。

機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部は、機械分野では、建設機械のグローバル展開を加速するため、シンガポールの大手建設機械レンタル・販売会社に出資し、同事業に参入しました。エネルギー・プラントプロジェクト分野では、イラク復興事業への取り組みとして、イラク全土に24カ所の変電所を新設する設計・調達・建設業務をイラク電力省から受注しました。売上高については、主に石油製品等の取り扱い増加により、前年同四半期連結累計期間を757億円(8.8%)上回る9,378億円となりました。

化学品・エレクトロニクス本部は、化学品分野では、医療事業拡大のため、セコム医療システム株式会社、インドのキルロスカ・グループと3社共同で、インドでの総合病院運営会社を設立しました。エレクトロニクス分野では、子会社である株式会社E Tスクウェアが、自動車向けマルチメディア配信事業においてパイオニア株式会社との連携を開始し、コンテンツ及びサービスの拡充に努めました。また、HEV事業では、電気自動車のシェアリングシステムを共同開発し、マンション向けなどのモニター利用を開始しました。売上高については、エレマテック株式会社の子会社化及び自動車生産の回復により、前年同四半期連結累計期間を1,454億円(17.3%)上回る9,873億円となりました。

食料本部は、穀物分野では、豪州の穀物集荷・輸出事業会社に出資し、豪州における集荷・物流・輸出事業に本格参入しました。食品分野では、インドネシアでのペットボトル清涼飲料市場の開拓を目指し、ホッカングループと設立した合弁会社が本格稼働しました。売上高については、穀物価格高騰に伴う取り扱い減少により、前年同四半期連結累計期間を307億円(12.8%)下回る2,100億円となりました。

生活産業・資材本部は、ライフスタイル分野では、介護関連事業の拡充を目指して、株式会社ニチイケアネットが設立した中国の日医福利器具貿易(上海)有限公司への出資につき基本合意しました。保険分野では、豊田通商インシュアランス・ブローカー・ベトナムが第一生命ベトナムと生命保険仲介に関し合意書を締結し、現地での生命保険販売において協業を開始しました。売上高については、主に前期販売用不動産売却の影響により、前年同四半期連結累計期間を77億円(3.6%)下回る2,088億円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上総利益の増加等により811億13百万円となり、前年同四半期連結累計期間（638億17百万円）を172億96百万円（27.1%）上回りました。経常利益は943億23百万円となり、前年同四半期連結累計期間（852億84百万円）を90億39百万円（10.6%）上回りました。その結果、税引後の四半期純利益は、前年同四半期連結累計期間（482億37百万円）を102億58百万円（21.3%）上回る584億95百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、無形固定資産で2,296億円、たな卸資産で1,783億円、有形固定資産で747億円の増加となり、前連結会計年度末に比べ6,013億円増加の3兆4,387億円となりました。また、純資産につきましては、四半期純利益等により利益剰余金で390億円、少数株主持分で367億円、為替換算調整勘定で87億円、その他有価証券評価差額金で78億円増加し、前連結会計年度末に比べ914億円増加の8,431億円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月31日発表の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、新たに設立したToyota Tsusho Wheatland Inc. を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	354,811	386,994
受取手形及び売掛金	1,054,602	1,054,119
有価証券	10,000	—
たな卸資産	406,546	584,811
その他	156,063	223,028
貸倒引当金	△5,050	△18,490
流動資産合計	1,976,974	2,230,464
固定資産		
有形固定資産	353,042	427,741
無形固定資産		
のれん	78,005	264,399
その他	34,554	77,701
無形固定資産合計	112,560	342,101
投資その他の資産		
投資有価証券	311,030	342,371
その他	99,454	113,100
貸倒引当金	△15,633	△17,029
投資その他の資産合計	394,851	438,442
固定資産合計	860,454	1,208,285
資産合計	2,837,428	3,438,750

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	800,067	807,915
短期借入金	350,001	650,063
未払法人税等	17,036	19,740
引当金	837	3,063
その他	319,263	425,526
流動負債合計	1,487,206	1,906,309
固定負債		
社債	85,000	85,000
長期借入金	444,521	522,618
引当金	21,298	26,440
その他	47,653	55,219
固定負債合計	598,474	689,279
負債合計	2,085,681	2,595,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	154,367	154,467
利益剰余金	483,255	522,269
自己株式	△6,844	△5,956
株主資本合計	695,714	735,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,924	24,796
繰延ヘッジ損益	△577	△3,274
為替換算調整勘定	△71,730	△63,013
その他の包括利益累計額合計	△55,383	△41,491
新株予約権	1,454	2,252
少数株主持分	109,962	146,684
純資産合計	751,747	843,162
負債純資産合計	2,837,428	3,438,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	4,283,842	4,706,749
売上原価	4,034,537	4,414,849
売上総利益	249,304	291,899
販売費及び一般管理費	185,486	210,786
営業利益	63,817	81,113
営業外収益		
受取利息	2,246	2,664
受取配当金	10,196	10,639
持分法による投資利益	12,752	13,406
雑収入	9,831	8,809
営業外収益合計	35,026	35,519
営業外費用		
支払利息	10,079	13,457
雑支出	3,480	8,850
営業外費用合計	13,559	22,308
経常利益	85,284	94,323
特別利益		
固定資産売却益	6,059	846
投資有価証券及び出資金売却益	93	5,784
債務保証損失引当金戻入額	—	133
事業撤退損失引当金戻入額	28	467
損害補償損失引当金戻入額	—	1,024
契約損失引当金戻入額	—	289
段階取得に係る差益	—	10,143
新株予約権戻入益	146	152
受取保険金	322	154
厚生年金基金代行返上益	2,214	—
特別利益合計	8,865	18,995
特別損失		
固定資産処分損	284	680
減損損失	923	238
投資有価証券及び出資金売却損	181	187
投資有価証券及び出資金評価損	1,799	3,009
関係会社整理損	178	0
債務保証損失引当金繰入額	180	—
事業撤退損失引当金繰入額	1,367	1,800
契約変更に伴う精算金	—	4,908
その他	16	54
特別損失合計	4,931	10,879
税金等調整前四半期純利益	89,218	102,439
法人税等	33,048	32,045
少数株主損益調整前四半期純利益	56,170	70,394
少数株主利益	7,933	11,899
四半期純利益	48,237	58,495



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,170	70,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,698	7,986
繰延ヘッジ損益	△1,149	△2,762
為替換算調整勘定	△25,910	9,757
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,615	120
その他の包括利益合計	△45,373	15,102
四半期包括利益	10,796	85,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,320	72,393
少数株主に係る四半期包括利益	5,476	13,103

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	金属	グローバル 生産部 品・ロジ スティク ス	自動車	機械・エ ネルギ ー・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレクト ロニクス	食料	生活産 業・資材	計				
売上高												
外部顧客への売上高	1,188,406	446,647	484,954	862,171	841,911	240,712	216,555	4,281,359	2,483	4,283,842	—	4,283,842
セグメント間の内部売上高又は振替高	132	4,498	25	728	4,505	85	1,435	11,411	274	11,685	△11,685	—
計	1,188,539	451,146	484,980	862,899	846,416	240,797	217,990	4,292,771	2,757	4,295,528	△11,685	4,283,842
セグメント利益又は損失(△)	21,931	5,967	18,066	△644	8,116	2,360	10,578	66,376	△2,553	63,822	△4	63,817

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	金属	グローバル 生産部 品・ロジ スティク ス	自動車	機械・エ ネルギ ー・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレクト ロニクス	食料	生活産 業・資材	計				
売上高												
外部顧客への売上高	1,259,400	516,176	584,509	937,851	987,383	210,006	208,860	4,704,189	2,559	4,706,749	—	4,706,749
セグメント間の内部売上高又は振替高	98	4,360	1	1,513	4,367	89	1,967	12,399	386	12,786	△12,786	—
計	1,259,498	520,537	584,511	939,365	991,751	210,096	210,828	4,716,589	2,946	4,719,535	△12,786	4,706,749
セグメント利益又は損失(△)	25,408	11,051	24,956	2,482	9,626	1,186	8,985	83,697	△2,584	81,113	0	81,113

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、主にセグメント間取引額を表示しております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2013年3月期第3四半期連結決算概要

2013年2月1日

豊田通商株式会社

(単位:億円)

(参考)

四半期推移	1Q	2Q	3Q
売上高	16,401	15,403	15,262
営業利益	263	221	326
経常利益	349	289	304
四半期純利益	226	107	250

連結経営成績	第3四半期 累計期間	前年同期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	47,067	42,838	4,229	9.9%
売上総利益	2,918	2,493	425	17.1%
販売費及び一般管理費	2,107	1,854	253	-
営業利益	811	638	173	27.1%
利息収支	▲107	▲78	▲29	-
受取配当金	106	101	5	-
持分法による投資損益	134	127	7	-
その他	▲0	63	▲63	-
経常利益	943	852	91	10.6%
特別損益	81	39	42	-
税金等調整前 四半期純利益	1,024	892	132	14.8%
法人税等	320	330	▲10	-
少数株主利益	118	79	39	-
四半期純利益	584	482	102	21.3%

主な増減要因
<p>【売上高】+4,229億円 自動車生産台数の増加、及び新規連結子会社の影響により 化学品・エレクトロニクス本部を中心に増加</p> <p>【売上総利益】+425億円 売上高の増加による</p> <p>【販売費及び一般管理費】+253億円 新規連結子会社の影響等により増加</p> <p>【利息収支】▲29億円 新規連結子会社の影響等により減少</p> <p>【その他営業外損益】▲63億円 主に為替差損益の悪化</p> <p>【特別損益】+42億円 主に段階取得に係る差益により増加</p>

商品本部別 連結売上高・営業利益	第3四半期 累計期間	前年同期	前年同期比 増減額	為替 影響額	為替影響除く	
					増減額	増減率
※上段:売上高、下段:営業利益						
金属	12,594	11,884	710	▲7	717	6.0%
	254	219	35	▲0	35	15.9%
グローバル生産部品・ ロジスティクス	5,161	4,466	695	▲19	714	16.1%
	110	59	51	0	51	84.2%
自動車	5,845	4,849	996	▲121	1,117	23.6%
	249	180	69	▲5	74	42.3%
機械・エネルギー・ プラントプロジェクト	9,378	8,621	757	18	739	8.5%
	24	▲6	30	1	29	-
化学品・ エレクトロニクス	9,873	8,419	1,454	3	1,451	17.2%
	96	81	15	0	15	18.5%
食料	2,100	2,407	▲307	▲4	▲303	▲12.6%
	11	23	▲12	▲3	▲9	▲43.7%
生活産業・資材	2,088	2,165	▲77	2	▲79	▲3.6%
	89	105	▲16	0	▲16	▲15.2%
合計	47,067	42,838	4,229	▲127	4,356	10.2%
	811	638	173	▲6	179	28.4%

主な増減要因
【売上高・営業利益】 自動車生産台数の増加により増収増益
【売上高・営業利益】 海外自動車生産台数の増加により増収増益
【売上高・営業利益】 単体の輸出及び海外自動車販売会社の 取扱台数増加により増収増益
【売上高】 石油製品等の取扱い増加により増収 【営業利益】 自動車生産台数の増加により増益
【売上高・営業利益】 新規連結子会社の影響により増収増益
【売上高・営業利益】 輸入穀物の取扱い減少により減収減益
【売上高・営業利益】 前期販売用不動産売却の影響により 減収減益

連結財政状態	第3四半期末	前期末	前期末比	
			増減額	増減率
総資産	34,387	28,374	6,013	21.2%
(流動資産)	22,304	19,769	2,535	12.8%
(投資有価証券)	3,423	3,110	313	10.1%
(その他の固定資産)	8,659	5,494	3,165	57.6%
純資産	8,431	7,517	914	12.2%
有利子負債(NET)	10,663	6,721	3,942	58.7%
D E R (NET)	1.5	1.0	0.5	

主な増減要因
<p>【流動資産】+2,535億円 ・現預金の増加 +321億円 ・たな卸資産の増加 +1,783億円</p> <p>【その他の固定資産】+3,165億円 ・有形固定資産の増加 +747億円 ・無形固定資産の増加 +2,296億円</p> <p>【純資産】+914億円 ・利益剰余金 +390億円 (四半期純利益+584億円、配当金▲168億円等) ・少数株主持分 +367億円</p>

連結業績予想	当期予想 (12/10/31公表)	前期実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	66,000	59,167	6,833	11.5%
営業利益	1,140	924	216	23.4%
経常利益	1,310	1,151	159	13.8%
当期純利益	700	662	38	5.7%

主要指標推移		第3四半期 累計期間	前年同期 (前期末)
為替(円/米ドル)	平均	80	79
	期末	87	(82)
金利	円TIBOR3M平均	0.33%	0.34%
	米ドルLIBOR3M平均	0.40%	0.35%
トハイ原油(米ドル/bbl)		107	108
豪州一般炭(米ドル/トン)		91	120
シゴコーン(セント/Bushel)		711	683